

## 茨城県第3区

**NO!** 戦争する国  
消費税増税  
原発再稼働

# 暴走ストップ、政治変えよう



## 日本共産党 林みやこ

市民と野党の共同をすすめる

### 日本共産党をのぼしてください



ベトナム戦争反対運動を通じて日本共産党に入った私の原点は「反戦・平和」です。保育士の経験を生かし取手市議を5期、子育て応援の政治を求めてきました。

だからこそ、くらしも平和もこわす安倍暴走政治は許せません。戦争法廃止、立憲主義回復を掲げる市民と野党の共闘こそ安倍政治を変える道です。

改憲や安保法制を容認する政党では安倍政治を変えられません。ぜひ野党共闘をすすめる日本共産党をのぼしてください。私、林みやこを国会に送ってください。

### 消費税10%はキツパリ中止

税金の集め方：アベノミクスで儲けた大企業と富裕層に自分の負担を。使い方：子育て・若者・社会保障へ待機児童ゼロ・特養増設・学費無償化

### くらし第一の経済を

8時間働けば普通に暮らせる社会の実現  
価格保障・所得補償で食料自給率の向上

### 東海第二原発は廃炉

延長認めない  
「原発ゼロ」へ転換を  
● 原発再稼働は中止する  
● 再生可能エネルギーへ転換を

### 憲法9条を守りぬく

憲法いかした 平和外交を  
● 北朝鮮問題は対話による平和的解決を  
● 戦争法(安保法制)廃止  
● 秘密保護法・共謀罪法廃止  
● 核兵器禁止条約にサインする政府を



比例代表は日本共産党とお書きください

略歴●1950年生まれ●保育士●取手市議5期●党3区区政対策委員長●取手市在住●事務所 取手市青柳135 Tel.0297-77-4776

# 「改革」そして「希望」への挑戦

希望の党公認候補として茨城3区にて立候補致しました  
ひぐちまいです。  
常に未来を見すえた活動を通して、大胆な改革を築いていく新しい政治。  
国民の声を活かした国政。  
誰もが自分らしい人生を送れる社会。  
若者が希望を持ち、高齢者がいつまでも健康でいられる社会。  
女性も男性も活躍できる社会。  
人が集まりたくなる地域づくり。  
私の生まれ故郷であるこの茨城3区の、そして日本の希望に満ちた未来の為に精一杯貢献してまいります。  
その為のチャンス是非私にください。  
どうぞよろしく願い致します。

～常に未来を見据え、そこを起点に今、この時、何をすべきかを考えます～

- しがらみのない政治、そして大胆な改革を築いていく新しい政治
- 国民の声を活かした国政で、誰もが多様な人生を送ることのできる社会へ
- 若者が希望を持ち、高齢者の健康長寿を促進し、女性も男性も活躍できる社会づくりへの貢献



## 希望の党公認 ひぐちまい 43歳

### 希望の党公認 ひぐちまい プロフィール

昭和48年生まれ。幼少期から人生の多くの時間を取手市藤代で過ごす。藤代幼稚園、藤代小学校、藤代中学校、竜ヶ崎第一高校を卒業。明治学院大学を卒業後、青山学院大学大学院にて経営学修士(MBA)修了。某大手外資系IT企業にて、男性が約7割を占める営業職として約10年間勤務。2016年には事業目標への高い貢献が評価され、世界TOP2に贈られる賞を受賞。ITやAIを活かした、より機動力のある政治の実現を目指す。



### 比例代表も自民党へ

#### プロフィール

昭和34年10月12日生まれ  
身長180cm 体重67kg  
昭和57年 東京大学法学部卒業  
警察庁入庁  
在インドネシア大使館書記官  
警察庁少年課理事官(警視正)  
平成15年 衆議院議員初当選 102,315票  
平成17年 衆議院議員再選 113,977票  
平成21年 衆議院議員選挙にて惜敗 103,228票  
平成24年 衆議院議員3期目当選 113,158票  
平成26年 衆議院議員4期目当選 120,500票  
平成26年 法務副大臣(2回)  
平成27年 衆議院法務委員長  
平成28年 党総務部会長

# 確かな政治で確かな未来を!!

- 1 アベノミクスの加速 / 人口減少の下でも持続的成長を**  
● 自動運転、人工知能、IT分野等への重点投資(第4次産業革命)  
● 高度人材を中心とした外国人材の活用
- 2 安全・安心の確保 / 厳しい安保環境の下でも安全な国を**  
● 持続可能な医療・年金・介護の確立  
● 価値観を共有する民主主義国家との連携強化  
● テロ対策・再犯防止対策などによる安全な国づくり  
● 強い農業の育成などによる食料安全保障の確立
- 3 未来への投資 / 不透明な時代こそ長期的ビジョンを**  
● 教育無償化の検討を始めとした子供・若者世代への投資  
● TX、圏央道、6号国道など未来へのインフラ整備

● 憲法改正に関する国民的議論の深化

6月の法改正で、議員定数の大幅削減が可能になりました。約3ヶ月と言われる周知期間の後には、この時期の早期解散で、税金の節約を図るのが政治の責務です。

そして、北朝鮮や経済など、困難な課題を乗り切るためには、短期決戦の後、選挙のための離合集散ではなく、自民・公明の安定政権の継続こそが求められています。

私は、これまで3回にわたり副大臣を拝命、自民党を代表して森友学園の籠池氏を証人喚問するなど、政府や党でのキャリアを積んで参りました。

この経験をいかし、今まで以上に、全力で皆様のお役に立って参ります。

厳しい選挙です。

温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

法務副大臣 兼 内閣府副大臣  
**葉梨 康弘**



## はなし康弘

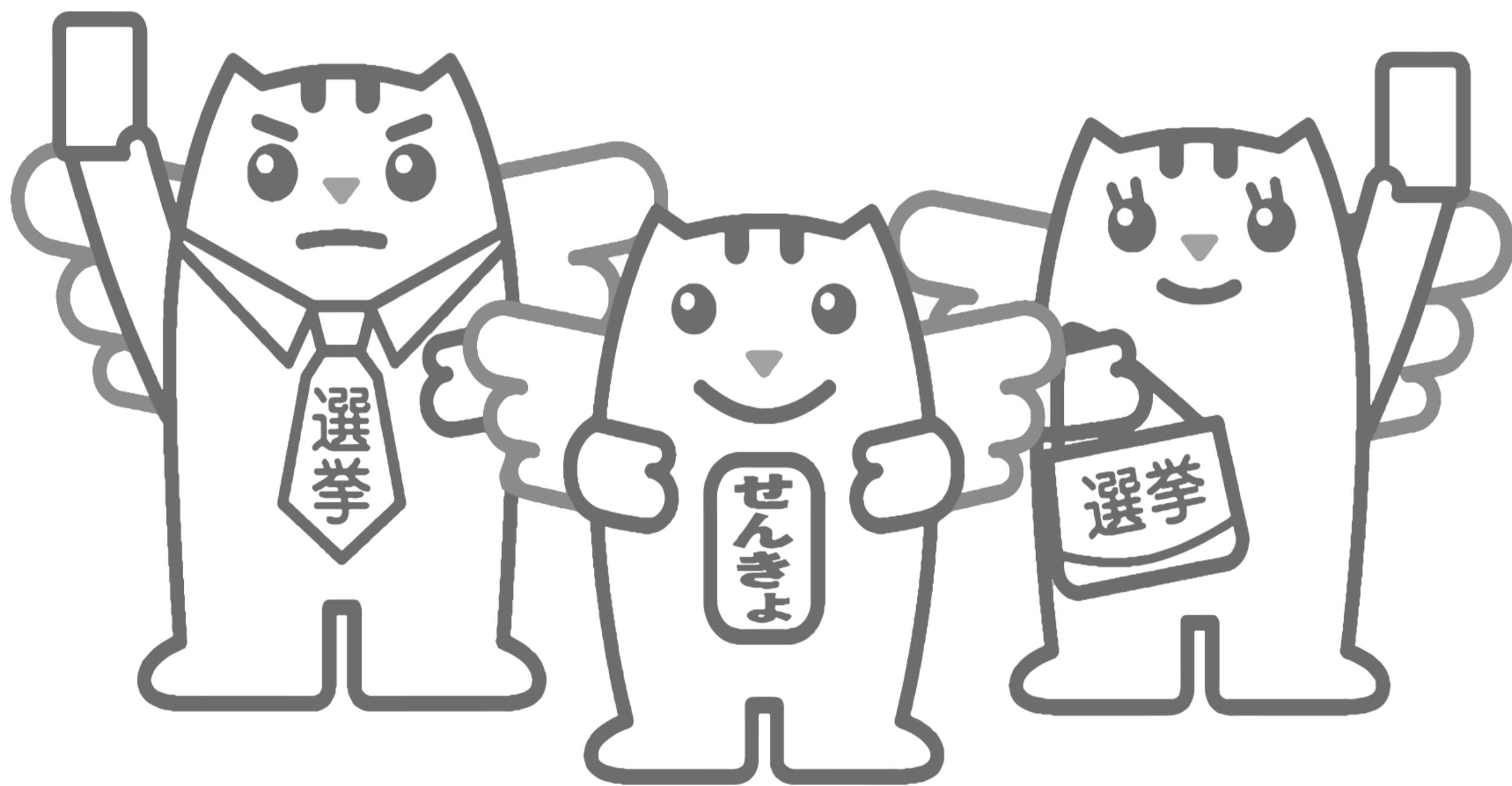
昭和三十四年十月十二日生

自民党公認/公明党推薦  
比例代表は政党名をお書き下さい。

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとりてそのまま印刷したものです。)

# 10月22日(日)は 衆議院議員総選挙 の投票日です

日本の明日を、私たちで決めよう。



投票日の当日、仕事や旅行などで投票に行けない方は、期日前投票制度をご利用ください。

期日前投票は、10月11日(水)から10月21日(土)までの間、お住まいの市町村の役場などで投票することができます。

(詳しくは、お住まいの市町村の選挙管理委員会までお問い合わせください。)

茨城県選挙管理委員会